

[中長期]事業目標管理計画書

作成日：2020年1月23日 作成者：齊藤 淳

■この計画書は、法人全事業所の中長期計画(2年以上を要する計画)全体を示すリストです。個々の計画詳細・実施内容等は、PJチームリーダーが保管する仕組み■

課題分類	課題テーマ	実現したい目標(値)	主担当(チームリーダー/メンバー)	マスタースケジュール					
				1年目[2020(R2年)年度・7期] 実施内容	MR評価点	2年目[2021(R3年)年度・8期] 実施内容	MR評価点	3年目[2022(R4年)年度・8期] 実施内容	MR評価点
長期目標 財務	財務強化	短期的に 30 億円 長期に 50 億円目標 例) 3 億円法人や 5 億円法人を複数統合等	執行理事/ 本部事務局	①27 億円 ②他法人統合案		①30 億円 * 世田谷ショート・堀口児童デイ・無低施設 ②他法人統合案 ③三老・個室ユニット		①35 億円(世田谷シ ②他法人統合	
長期目標 障害	①障害者の「居る場所」(生き甲斐作り)・「就労」・「住宅」の総合支援策(青森・世田谷) ②障害者アートを位置付ける(カルチュラル・オリ	①1)GH 男4人女3人計7人 2)日中生活介護20人別棟へ 3)重度者対応 A 療養デイ(三沢改築時) B 療養ショート2床 C 重度障害就労 4)世田谷 多機能型 ②2017年～2020年 オリンピック参加・	齊藤/執行理事・渡辺理事・中嶋ボイス担当 同上	①1)計画・実行 2)テナント改修計画・実行 3)三老に計画 A 三老計画 B 同上 C 計画 4)計画 ②レストラン内で仮展示(展示絵		①1)同左 2)同左 3)重度対応・三老 A 児童デイ+日中生活介護 20人 B ショート2床 C 重度就労 4)具体化計画 ②実行		①1)同左 2) 3)実行 A B C 実行 4)具体化計画 左 同	

	ンピアードを目指し)	<p>ギャラリー「パラアート」完成(展示会・企画展)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アーティスト支援障害芸術支援活動開始 ・障害者音楽等総合芸術の支援 <p>③アビリンピック参加(調理部門)</p>		<p>画収集)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内アーティスト検索 ・ピアノ演奏実施 <p>③具体的な検討</p>		<p>実行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実行 ・実行 <p>③段階的に実行</p>		左同	
長期計画	<p>三沢老人ホーム第八期計画(2021年～2023年)</p> <p>改築計画の完成</p> <p>SDGS11.5 脆弱な立場の人の保護</p> <p>11.7 緑地や公共スペースのアクセス</p>	<p>改築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特養 60 床 ・ショート 10 床 ・総合リハデイ 20 人 <p>①重度共生デイ(療養通所 20 人)</p> <p>②重度共生ショート 2 人</p> <p>③訪問看護チーム移転</p> <p>④長老ミュージアム</p>	齊藤/山崎理事・執行理事・介護部会・音喜多	改築実施計画		着工・竣工		左同	
長期目標	<p>晴ヶ丘老人ホーム改築計画</p> <p>SDGS11.5 脆弱な立場の人の保護</p> <p>11.7 緑地や公共スペースのアクセス</p>	<p>①サテライト 20 床 + 無料低額宿泊所 20 床 + 生活支援・就労センター</p> <p>②晴ヶ丘 本体 40 床 ショート 5 床</p>	齊藤/執行理事・晴ヶ丘・音喜多	事業構想検討会実施(無低のみ別で計画・実行)		事業構想計画作成・資金計画案(無低実行)		左同	

採用計画	青森拠点、世田谷拠点、府中拠点の採用計画 SDGS8.5 障害者雇用と同一労働同一賃金 ディーセントワーク	採用計画 ①採用担当の学校訪問計画 2020計画(新卒20名中途20名計画) ②お仕事説明会の随時開催 ③重点 青森 1) 拠点1名余裕採用。 2) 技実10人青森 3) 府中コラボは常勤8名夜勤体制を。 4) 世田谷 特養 5F2U×20人 ショ2U×20人 5) コラボ 8人 拠点留学生8人 アシスタント ④障害者雇用強化 ⑤リファーマル制度	畑山理事/ 新山・橋本 各拠点の 全社員 渡辺理事/ 施設長補佐・事務 長・コラボ 所長・軽費 施設長 同上 執行理事	①学校訪問 上十三高校・県内福祉系大学 他 ②各施設 アルバイト採用 ③緊急拠点より 随時 ④新たな計画作成 ⑤運用	同 左	④運用 ⑤運用	同 左		
定着 生き 甲斐 仕事	1) 2020年4月より一般事業主行動計画(令和5年までの第八期介護計画に併せる)	①女性キャリア研修 ②職員の子育て両立のためサービス費用支援 ③親の仕事を見る 子供参観日実施 ④若者のインターンシップ・トライアル雇用 ⑤小中高対象地域福祉	常務・齊藤 理事/執行 理事・各拠 点長以下 (新山・橋本) (齊藤・鶴川)	①研修会計画 ②調査・運用開始 ③計画・実行 ④運用 ⑤計画・実行	運用 同左 運用	同左	同左	同左	同左

	2)福利厚生見直し 契約 エイトドア SDGS 8.5 ディーセントワーク	リーダー育成研修 2)①定年・退職金・ 福利厚生見直し	(齊藤理事/執行理事・エイトドア)	2)①改変					
労働安全管理	法人安全衛生委員会の活動 SDGS 8 ディーセントワーク (働き甲斐のある人間らしい雇用)	①作業環境改善 衛生管理者による巡回 ②車両事故防止 安全運転事故対策マニュアルより ③ハラスメントを解決する	駒井理事/ 委員会・各 拠点長	①運用中 衛生管理者のいない施設を重点化 ②無事故キャンペーン ③ハラスメント委員会により実行		同左		同左	
地域防災計画	楽晴会災害支援チーム結成による防災対策大綱の策定 SDGS 11.5 2030年までに災害弱者の死者や被災を減らす 1.5 人々の強靱性(レジリエンス)を構築し環境や災害の脆弱性を軽減	①各拠点防災マニュアル作成 ②地域防災計画の作成 地域貢献 施設備蓄再調整 ③危機管理マニュアル改定 ④楽晴会災害支援チーム「コンバット三沢(仮称)」結成	齊藤・新山/ 各拠点 長・音喜多	①実行 ②実行 ③見直し ④チーム結成 ユニフォーム 結団式		同左 ④運用		同左 ④運用	

広報 宣伝	ホームページ改定 新パンフレット作成 他	①「福祉の鉄人」コンテンツ作成・配信 ②広報委員会 1)ユートピアの宣伝 2)パンフの宣伝 3)HP・SNSでの宣伝	畑山理事/ 介護部会 有志 畑山理事/ 鶴川・音喜 多	①「福祉の鉄人」作成しアップする 主催 学びエイド ② 1)職員家族向け増刷 2)増刷・再検討 3)運用中		同左		同左	
教育 訓練	教育訓練体系の完成 SDGS4.4 すべての人の公正で質の高い教育 4.4 技術的・専門的スキルなど	①見直し決定・実行 ②トレーナー制実行 ③階層別研修(三沢・東京開催)定着 ④外国人教育を定着 ⑤介護部会・スキル向上 ⑥SW 部会 ⑦事務部会 ⑧フードセンター	山崎理事/ 各拠点長 以下・鶴川 (渡辺理事) (川村他) (中岫他) (清水他) (栄養士)	①実行・運用 ②再定義 ③運用 ④研修体制計画 ⑤・ユマニチュワード ・ノーリフティング ・介護記録 他 ⑥・ファミリーケースワーク ・多問題ケース他 ⑦・基礎研修 ・RPA 他 ⑧生産性向上他		運用		運用	
品質 改善	①ISO2015年場版取得 全事業所 ②今改めて介護の本質に 迫る	①各部門と品質統括責任者 ②ケアの信条 2020年バージョン改定	山崎理事/部門責任者 齊藤/部門責任者	①サーベイランス運用(世田谷除) ②作成・運用		左実行		左実行	

人事 労務 改善 計画	コンサル（エイトドア） により全面見直し SDGS8 ディーセントワーク（働 き甲斐のある人間らし い雇用）	①雇用区分整理 ②キャリアパスの 細分化 ③給与・手当見直し ④定年変更 ⑤退職金見直し ⑥東京（世田谷）給 与見直し ⑦医療職給与見直 し その他	エイトド ア下田氏/ 執行理事・ 清水事務局 長	計画・実行 2年目完成		運用の見直し・点検		改善	
福祉 教育	楽晴会サポーター制度 導入(次世代対策に再 掲)	地域人材育成制度創立 (三沢・世田谷) U12～18参加	齊藤・齊藤 理事/担当 者部門	計画案 結成式・実行		運用		運用	
相談 体制	総合相談体制	青森 1)相談体制の見直し 総合相談(老人・障 害・児童・低所得他) 相談支援と連携 2)世田谷(府中同) 相談員による相談	齊藤・中岫 /アマネ・ボ イス相談 支援員・ SWセンタ ー	1)多問題ケースの 共有・ファミリーケ ースワーク 2)世田谷・府中の 相談体制確立		1)2)左同じ		運用	
生活 困窮 者対 策	低所得対策 (東京は調査→検討→ 合同会議→計画) SDGS1.1 1.2 1.3 ・1日1.25ドル未満の極度の 貧困を終焉 ・貧困状態の大人と子供を半 減させる	①生活困窮者支援事業 の支援を盛んにする ②無料宿泊施設の検討 (生保並み) ③学童の支援(就学支 援・奨学金) ④相談機関の連携	齊藤 /SW センター (山崎理事) (SWセンタ ー)	①ア生活困窮者 担当対応拠点整備 いしあわせネ ットワーク ②実施計画・実行 ③研究 ④連携		運用		運用	

総合 支援 事業	総合支援事業(保険外) 1)介護予防 2)介護1と2の対策 3)生活支援サービス研究 A 就労支援 B ヘルパー C 新規検討	三沢、六戸 1)要支援1、2高齢者の 相談支援・サービス 2)要介護1、2の分析 3)生活支援サービス 検討会	執行理事/ ケアマネ 他	1)検討 2)検討 3)検討会		1)検討と新計画案 2)新計画案 3)実行		1)2)3)同左	
認知 症ケ ア	①認知症カフェ ②老年行動科学会	①認知症の利用者の唯一の地域の交流スペース ②学会参加	1)世田谷 2)三沢SWセンター 齊藤/担当	①認知症カフェ事業開始 ②老年行動科学会で学習		①運用 ②同じ左		①運用 ②老年行動科学会	
医療 連携	医療研修実施	1)痰吸引研修者増 2)福祉と医療の連携に関する検討会	1)各部門 2)執行理事 中村訪看	1)登録状況確認 2)計画・実行		運用		改善	
介護 スキル	①ユニットケア 介護の質を上げる ②介護のプロセスの改善 ③介護記録 ④介護の本質 ⑤医学的管理の目	①ユニットケア向上 ②介護プロセス(アセスメント・プラン)の明確化 ③介護記録で効果の測定 ④楽晴会ケアの信条 ⑤利用者疾病研修	各施設拠点長/全職員 中村訪看他	①各施設検討 ②現場MR復活 ③研究テーマ(介護記録とその効果) ④楽晴会ケアの信条 ⑤利用者疾病研修会		運用		改善	
記念 誌	社史(50年)記念事業	記念事業	ソシエに委託	計画		実行		完成	

長期計画	地球温暖化対策 地球環境の快適性の向上・エネルギー利用の効率化を図る SDGS 7 7.2 7.3持続可能な近代的エネルギーのアクセス確保	① 省エネ勉強会 ② 電化・太陽光発電・省エネ機器 研究・検討会研修会及び施設見学	執行理事・拠点長	①実施し(三沢・松園)検討する ②実行		同左		同左	
-------------	---	--	----------	------------------------	--	----	--	----	--

MR 評価基準	[評価点：9～10点]期待水準を上回り、抜群の実績を上げた場合 [評価点：7～8点]期待水準を上回った場合 [評価点：5～6点]期待水準どおりであった場合	[評価点：3～4点]期待水準を下回った場合 [評価点：1～2点]期待水準を大幅に下回った場合 [評価点：0点]計画に未着手の場合
----------------	---	--

form：事業－06－第1版

Page： /

注意 長期計画 当会では原則1年計画。京セラ稲盛氏の教えでもそれ以上は否定的。障害の制度変更、介護保険の3年見直しなど変化の激しい時代にあり実現性に着目しない長期計画を立てない。逆に平年から内部留保を維持し事に当たること。従って当会では3年長期計画としているが、いつも1年目は前年度の結果であり、2年目・3年目は特に新たに動かない場合は「運用」に留まる。

SDGS 「エス・ディー・ジーズ」と発音。SDGS(持続可能な開発目標)は2030年までに達成すべき17の目標。「持続可能な開発目標」は英語では、Sustainable Development Goals でこの頭文字の略。2015年9月に国連で開かれたサミットの中で世界のリーダーによって決められた国際社会共通の目標。2015年から2030年までの長期的な開発の指針とし、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択された。その文書の中核をなす「持続可能な開発目標」をSDGSと呼んでいる。SDGSは17の目標と169のターゲット(具体的目標)で構成されている。(上記計画中のナンバリングは169内のいずれかを表示)

- | | | |
|-----------------|----------------------|----------------------|
| 1 貧困を無くそう | 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに | 13 気候変動に具体的な対策を |
| 2 飢餓をゼロに | 8 働き甲斐も経済成長も | 14 海の豊かさを守ろう |
| 3 全ての人に健康と福祉を | 9 産業と技術革新の基盤を創ろう | 15 陸の豊かさを守ろう |
| 4 質の高い教育を | 10 人や国の不平等をなくそう | 16 平和と公正をすべての人に |
| 5 ジェンダー平等を実現しよう | 11 住み続けられるまちづくり | 17 パートナリシップで目標を達成しよう |
| 6 安全な水とトイレを世界中に | 12 つくる責任 つかう責任 | |

課題	計画目標	年度[目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	1.総サービス提供高	218,423,205 円	2020 年度大項目算定根拠資料	円		
	2.経費合計	69,423,465 円	時間当たり前年度対比+1.8%	円		
	3.差引収益	148,999,740 円		円		
	4.総時間	67,117.00H		H		
	5.時間当り	2,220.00 円		円		
[B] 顧客満足・ サービス 向上	1. お客様のサービス・ 支援に対する満足度把握	随時 90%	1-1 山鳩の会、のぞみの箱、嗜好 調査等による吸上げによる 1-2 独自アンケート調査実施			
	2. お客様からの苦情対 応	5 件	2-1 山鳩の会、のぞみの箱、セー フティネットオンブズマン等 からの吸上げにて対応			
[C] 教育訓練	1.内部教育件数	20 件	内部研修報告書	件		
	2.外部教育件数	20 件	外部研修報告書	件		
	3.外国人教育の定着	毎月	研修計画により実施			
	4.有資格者の増	2 人	社会福祉士・介護支援専門員			

[D] リスク予知対策活動	1.リスク予知活動	300件	1-1 ヒヤリハット活動			
		5件	1-2 リスク予知対策発動			
	2.事故防止活動	年 2回	2-2 事故防止対策マニュアル見直し・勉強会実施			
[E] 改善活動	1.作業環境改善活動	福祉機器等導入 職員満足 80%	ノンリフティングケアの推進 福祉機器等導入、職員教育実施 職員満足度にて効果の確認			
	2.改善研究レポート	3件	『改善のステップ』により課題解決を進める			
	3.ミニ改善活動	3件	『ミニ改善記録報告書』による			
[F]他	1.防災対策活動	1回	防災マニュアルの見直し		回	
		2回	地域協力員を交えた避難訓練		回	
	2.地域交流活動	3回	周辺地域住民を施設行事へ招待		回	
		5回	保育園・小学校等の行事、周辺地域の行事参加			
	3.地域広報活動	4回	施設広報誌、ユートピアの配布			

MR 評価基準	<p>[評価：S (スペシャル)]大幅な成果を上げた場合</p> <p>[評価：A]計画値達成の場合</p> <p>[評価：B]計画値未達成の場合</p> <p>[評価：C]計画未着手の場合</p>
---------	--

課題	計画目標	年度[目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	1.総サービス提供高	254,059,993 円	長期 60 名・短期 11 名	円		
	2.経費合計	57,896,703 円	ドラレコ 3 台・福祉用具	円		
	3.差引収益	196,163,290 円		円		
	4.総時間	69,809.00H	技能実習生 2 名・常勤 3 名増	H		
	5.時間当り	2,810.00 円	前年度比 92.98%	円		
[B] 顧客満足・ サービス 向上	①マナー・挨拶取組み	80%	アンケート 2 回・研修			
	②苦情受付	5 件				
	③オブズマン情報取組	2 件				
[C] 教育訓練	1.内部教育件数	12 件		件		
	2.外部教育件数	10 件	・食事嚥下他	件		
	3.有資格	3 名	アセッサー・喀痰・介護実習指導員			

[D] リスク予知対 策活動	①ヒヤリハット取り組み	300 件	転倒・短期入所者所持品忘れ			
	②指針の見直し	3 件	看取り・事故・身体拘束			
[E] 改善活動	①QOL向上	1 件	食形態（トロミの統一）			
	②A改善スキルチェック	1 件	指導方法統一・介護スキルチェック			
	③B改善	3 件	調理方法の検討			
			ノーリフト			
			ユマニチュード			
[F]他	1.防災対策活動	6 回	地域防災 2 回（防災用品のデモ）		回	
	2.地域交流活動	2 回	夏祭り・年越し祭		回	
	3.地域広報活動	2 回	地域ボランティア・人材含む		回	

MR 評価基準	[評価：S（スペシャル）]大幅な成果を上げた場合
	[評価：A]計画値達成の場合
	[評価：B]計画値未達成の場合
	[評価：C]計画未着手の場合

課題	計画目標	年度[目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	1.総サービス提供高	82,409,022 円	2020 年度MP 及び大項目算定	円		
	2.経費合計	33,386,639 円	根拠資料参照	円		
	3.差引収益	49,022,383 円		円		
	4.総時間	24,197H		H		
	5.時間当り	2,026 円		円		
[B] 顧客満足・ サービス 向上	1.お客様の声 (要望・苦情・満足の声)	要望・苦情 20 件 満足の声 20 件	菜々の会定例懇談会・運営懇談 会・外部機関等による収集			
	2.CS 結果 (職員応対満足)	98%	CS 実施予定			
	3.CS 結果 (サービス内容満足)	98%	CS 実施予定			
[C] 教育訓練	1.内部教育件数	12 件	教育訓練計画書	件		
	2.外部教育件数	5 件	(認定特定行為従業者資格 認知症等)	件		

[D] リスク予知対策活動	1.ヒヤリハット件数	150 件	ヒヤリハット記録書			
	2.リスク予知対策書発行	15 件	リスク予知対策書			
	3.KYT 研修	2 回	教育訓練計画書			
[E] 改善活動	1.業務改善	2 件	改善計画書（記録書・業務）			
	2.省エネ対策	光熱水費削減率 前年比 5%	松園省エネ委員会（拠点）			
[F]他	1.防災対策活動	年 3 回	総合防災訓練、炊き出し訓練	回		
	2.地域交流活動	年 6 回	夏祭り、餅つき、歌声サロン等	回		
	3.地域広報活動	年 2 回	行事等	回		

MR 評価基準	<p>[評価：S（スペシャル）]大幅な成果を上げた場合</p> <p>[評価：A]計画値達成の場合</p> <p>[評価：B]計画値未達成の場合</p> <p>[評価：C]計画未着手の場合</p>
---------	--

課題	計画目標	年度[目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	1.総サービス提供高	163,886,470 円	※・入居稼働率 100% ・平均介護度 2.3⇒2.9 へ ・食事代 1 日 120 円値上げ ・夜間看護体制加算取得	円		
	2.経費合計	79,573,690 円	全体経費を前年度より 約 820,000 円減	円		
	3.差引収益	84,312,760 円	※同様	円		
	4.総時間	46,570.00H	効率の良い人員体制の継続 ・必要時お仕事説明会の開催 残業ゼロを目指す	H		
	5.時間当り	1,810.5 円	※同様 ・前年度より 171 円増	円		
[B] 顧客満足・ サービス 向上	1.お客様要望・苦情	20 件	随時受付、調査の実施			
	2.給食アンケート調査	入居者数	4 月実施、メニューの改善			
	3.第 3 回職員満足度調査	満足度 70%以上	調査の実施・改善			
[C] 教育訓練	1.内部教育件数	25 件	教育訓練計画書にて実施 ・専門部会研修の参加	件		
	2.外部教育件数	8 件	関係団体の研修に参加	件		
	※医療研修実施	2 名	喀痰吸引研修 2 名 ※現在 5 名			

[D] リスク予知対 策活動	ヒヤリハット件数	100 件	記録書			
	リスクマネジメント	4 件	KYT 研修開催			
	リスク対策報告書	5 件	リスク対策報告書発行			
[E] 改善活動	業務改善	3 件	介護記録書の改善・運用 職員満足度の改善 介護プロセスの明確化			
	ミニ改善		看護業務の見直し			
			各委員会活動の運営・手順書			
[F]他	1.防災対策活動	2 回	防災マニュアルの完成・運営 ・マニュアルに沿った訓練	回		
	2.地域交流活動		地域寺子屋交流行事開催 (4)			
		7 回	第 3 回地域交流祭の開催 (1) 保育園園児との交流 (2)	回		
	3.地域広報活動	6 回	施設広報誌の作成・配布	回		
	4.労災・車両事故ゼロ	1 年間	ポスター掲示・研修会の実施			
5.地球温暖化対策	2 回	研修会の参加				

MR 評価基準	<p>[評価：S (スペシャル)]大幅な成果を上げた場合</p> <p>[評価：A]計画値達成の場合</p> <p>[評価：B]計画値未達成の場合</p> <p>[評価：C]計画未着手の場合</p>
---------	--

課題	計画目標	2020年度 [目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	1.総サービス提供高	81,653,140円	R2年度MP 大項目算定根拠資料	円		
	2.経費合計	30,974,799円		円		
	3.差引収益	50,678,341円		円		
	4.総時間	26,670.0H		H		
	5.時間当り	1,900.0円		円		
[B] 顧客満足・ サービス 向上	1.職員接遇満足度調査	年2回	お客様・ご家族へ調査等実施 改善活動の実施			
	2.ユニット活動を充実させる	毎月	・ユニット会議で「個々の支援」 「活動」について検討し実施 ・ユニットリーダー研修1名受講			
[C] 教育訓練	1.内部教育件数	7件	教育訓練計画表に策定	件		
	2.外部教育件数	10件	介護・看護職員1件以上の受講	件		
	3.特定行為従事者認定者増	対象1名	特定行為業務従事者認定証取得			
	4.技能実習生教育の実践	1件	研修計画策定			

[D] リスク予知対 策活動	1.介護・看護ヒヤリ分析	年4回	事故防止委員会活動 (アセスメント・情報統合力向上)			
	2.危機管理及び緊急時 対応の整備	100%	事故や救急を想定した訓練実施 大規模災害に備えた備蓄の整備			
[E] 改善活動	1. 特浴利用率の減少	30%減	リハビリ、介護機器等の導入 浴室環境の改善			
	2.ノーリフトケアの定着	100%	移乗介護対象者へのケア実践			
	3.働き方改善 ②有給休暇取得率	70%	働き方改革委員会の活動に策定			
[F]他	1.防災対策活動	年6回	防災訓練年間計画 (地域防災活動への参加含む)	回		
	2.地域交流活動	年4回	年間スケジュールに策定	回		
	3.地域広報活動	年4回	町内会回覧板への発行 HP 記事収集・提供	回		

MR 評価基準	<p>[評価：S (スペシャル)]大幅な成果を上げた場合</p> <p>[評価：A]計画値達成の場合</p> <p>[評価：B]計画値未達成の場合</p> <p>[評価：C]計画未着手の場合</p>
---------	--

課題	計画目標	2020年度 [目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	1.総サービス提供高	77,515,410円	入居率100%を維持する。	円		
	2.経費合計	29,614,666円	計画的に進め経費最少とする。	円		
	3.差引収益	47,900,744円	特別室利用方法を検討する。	円		
	4.総時間	24,922.0H	計画的有給の促しをする。	H		
	5.時間当たり	1,922.0円	進捗管理する。	円		
[B] 顧客満足・ サービス 向上	1.お客様の要望・苦情	7件	聞き取り調査実施する。			
	2.職員満足度調査	年1回	職員満足度調査実施			
	3.余暇活動の推進	月1回	誕生日会等のイベントを予定。			
	4.外出支援	4月～12月	ドライブや食事を含め対応。			
	5.嗜好調査	年1回	結果からお食事会を開催する。			
[C] 教育訓練	1.内部教育件数	15件	教育訓練・伝達研修	件		
	2.外部教育件数	11件	階層別研修・専門的分野研修	件		
	3.認知症実践者研修	1件	認知症実践者研修取得			
	4.喀痰吸引等研修	1件	喀痰吸引等取得			
	5.技能実習生教育	1件	研修計画策定			

[D] リスク予知対策活動	1.ヒヤリハット件数	90件	1週間に1件以上の報告とする。			
	2.ヒヤリ分析	年4回	6月・9月・12月・3月			
	3.リスク対策報告書件数	5件	危険予知に備え防止策とする。			
	4.感染対策	随時	感染症発生時の対策			
	5.防災対策		毎月避難訓練等の実施			
[E] 改善活動	1.ターミナルケア	書類整理	加算取得を目標とする。			
	2.ユニットケア	毎月	ユニットミーティングの開催			
	3.介護技術向上	50%	福祉用具活用・ノーリフティング技術習得・			
	4.おむつ外し	30%	現在45%→目標30%			
	5.5S活動	週1回	安全パトロール実施			
[F]他	1.防災対策活動	2回	火災訓練・搬送訓練		回	
	2.地域交流活動	2回	介護予防・お茶っこサロン		回	
	3.地域広報活動	4回	町内会回覧板への発行・HP		回	

MR 評価基準	<p>[評価：S（スペシャル）]大幅な成果を上げた場合</p> <p>[評価：A]計画値達成の場合</p> <p>[評価：B]計画値未達成の場合</p> <p>[評価：C]計画未着手の場合</p>
---------	--

課題	計画目標	年度[目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	1.総サービス提供高	97,382,480 円	大項目策定根拠資料	円		
	2.経費合計	35,267,203 円	〃	円		
	3.差引収益	62,115,277 円	〃	円		
	4.総時間	31,530.5 H	〃	H		
	5.時間当り	1,970.0 円	〃	円		
[B] 顧客満足・ サービス 向上	1.月行事の運営	12 回	担当制で企画運営	回		
	2.喫茶の日の運営	12 回	ボランティアと協同運営	回		
	3.機能訓練の定着	6 人/日	日課(各U)の改訂	人/日		
[C] 教育訓練	1.内部教育件数	12 件	教育訓練計画表	件		
	2.外部教育件数	10 件	研修要綱	件		
	3.技能実習生教育件数	12 件	教育訓練計画表	件		

[D] リスク予知対策活動	1.ヒヤリハット件数	60 件	記録システムで収集	件		
	2.リスク予知対策書	5 件	月間スローガンに反映	件		
[E] 改善活動	1.ノーリフト [®] の試み	腰痛の減少	プロセス改善			
	2.看取り介護の改良	加算の算定	プロセス改善			
[F]他	1.防災対策活動	2 回	地震、停電対策	回		
	2.地域交流活動	3 回	夏祭り、サロン	回		
	3.地域広報活動	4 回	学校、公共施設、FB	回		

MR 評価基準	<p>[評価：S（スペシャル）]大幅な成果を上げた場合</p> <p>[評価：A]計画値達成の場合</p> <p>[評価：B]計画値未達成の場合</p> <p>[評価：C]計画未着手の場合</p>
---------	--

課題	計画目標	2020年度 [目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	1.総サービス提供高	73,366,970円	R2年度MP 大項目算定根拠資料	円		
	2.経費合計	18,074,806円		円		
	3.差引収益	55,292,164円		円		
	4.総時間	25,539.0H		H		
	5.時間当り	2,165.0円		円		
[B] 顧客満足・ サービス 向上	1.職員接遇満足度向上 (調査)	年2回	お客様・ご家族へ調査等実施 改善活動の実施			
	2.外出の機会を提供する	月2回		個別ニーズ理解し暮らしの支援 を实践		
[C] 教育訓練	1.内部教育件数	7件	教育訓練計画表に策定	件		
	2.外部教育件数	10件	介護・看護職員1件以上の受講	件		
	3.特定行為従事者認定者増	対象2名	特定行為業務従事者認定証取得			
	4.技能実習生教育の実践	1件	研修計画策定に基づき実施			

[D] リスク予知対 策活動	1.介護・看護ヒヤリ分析	年4回	事故防止委員会活動 (アセスメント・情報統合力向上)			
	2.危機管理及び緊急時対応の整備	100%	事故や救急を想定した訓練実施 大規模災害に備えた備蓄の整備			
[E] 改善活動	1.ミーティングの充実	毎月	お客様理解を深め「個々の支援」 について検討			
	2.転倒予防の取組み	対象5名	自宅での転倒を予防する			
	3.働き方改革 ②有給休暇取得率	70%	働き方改革チームの改善活動			
[F]他	1.防災対策活動	年6回	防災訓練年間計画 (地域防災活動への参加含む)	回		
	2.地域交流活動	年4回	年間スケジュールに策定	回		
	3.地域広報活動	年4回	町内会回覧板への発行 HP 記事収集・提供	回		

MR 評価基準	<p>[評価：S (スペシャル)]大幅な成果を上げた場合</p> <p>[評価：A]計画値達成の場合</p> <p>[評価：B]計画値未達成の場合</p> <p>[評価：C]計画未着手の場合</p>
---------	--

課題	計画目標	年度[目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	1.総サービス提供高	80,334,390 円	会員の定着	円		
	2.経費合計	21,603,771 円	計画的に進め経費最少とする。	円		
	3.差引収益	58,730,619 円	保険外費増を見込む。	円		
	4.総時間	25,130.5H	計画的有給の促しをする。	H		
	5.時間当り	2,337.0 円	進捗管理する。	円		
[B] 顧客満足・ サービス 向上	1.職員満足度調査	年 1 回	職員満足度調査実施			
	2.余暇活動の推進	月 1 回	イベントを予定。			
	3.外出支援	4 月～11 月	季節に応じたドライブや買い物			
	4.嗜好調査	年 1 回	結果からお食事会を開催する。			
[C] 教育訓練	1.内部教育件数	12 件	教育訓練・伝達研修	件		
	2.外部教育件数	12 件	専門的分野研修	件		
	3.認知症実践者研修	1 件	認知症実践者研修取得			
	4.技能実習生教育	1 件	研修計画策定			

[D] リスク予知対策活動	1.ヒヤリハット件数	90 件	1 週間に 1 件以上の報告とする。			
	2.ヒヤリ分析	年 4 回	6 月・9 月・12 月・3 月			
	3.リスク対策報告書件数	3 件	危険予知に備え防止策とする。			
	4.感染対策	随時	感染発生時期の予防対策			
	5.防災対策		毎月の避難訓練の実施			
[E] 改善活動	1.カンファレンス実施	週 1 回	お客様のケア内容の確認			
	2.福祉用具の定着	50%	ノーリフティング等の技術			
	3.5S 活動	週 1 回	安全パトロール			
[F]他	1.防災対策活動	2 回	火災訓練・搬送訓練	回		
	2.地域交流活動	2 回	介護予防・お茶っこサロン	回		
	3.地域広報活動	4 回	町内会回覧板への発行・HP	回		

MR 評価基準	<p>[評価：S (スペシャル)]大幅な成果を上げた場合</p> <p>[評価：A]計画値達成の場合</p> <p>[評価：B]計画値未達成の場合</p> <p>[評価：C]計画未着手の場合</p>
---------	--

課題	計画目標	年度[目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	1.総サービス提供高	72,666,070 円	大項目策定根拠資料	円		
	2.経費合計	21,880,947 円	〃	円		
	3.差引収益	50,785,123 円	〃	円		
	4.総時間	27,452.0 H	〃	H		
	5.時間当り	1,850.0 円	〃	円		
[B] 顧客満足・ サービス 向上	1.月行事の運営	12 回	担当制で企画運営	回		
	2.喫茶の日の運営	12 回	ボランティアと協同運営	回		
	3.クラブ活動の運営	3 回/週	〃	回/週		
[C] 教育訓練	1.内部教育件数	12 件	教育訓練計画表	件		
	2.外部教育件数	10 件	研修要綱	件		
	3.技能実習生教育件数	12 件	教育訓練計画表	件		

[D] リスク予知対策活動	1.ヒヤリハット件数	60 件	記録システムで収集	件		
	2.リスク予知対策書	5 件	月間スローガンに反映	件		
[E] 改善活動	1.リスクマネジメントの改善	0 件	プロセス改善			
	2.食事お届けサービスの改良	200 件/月	プロセス改善	件/月		
[F]他	1.防災対策活動	2 回	地震、停電対策	回		
	2.地域交流活動	3 回	夏祭り、サロン	回		
	3.地域広報活動	4 回	学校、公共施設、FB	回		

MR 評価基準	<p>[評価：S（スペシャル）]大幅な成果を上げた場合</p> <p>[評価：A]計画値達成の場合</p> <p>[評価：B]計画値未達成の場合</p> <p>[評価：C]計画未着手の場合</p>
---------	--

課題	計画目標	年度[目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	1.総サービス提供高	40,871,691 円	2020 年度 MP 及び大項目算定	円		
	2.経費合計	15,576,468 円	根拠資料参照	円		
	3.差引収益	25,295,223 円		円		
	4.総時間	14,207H		H		
	5.時間当り	1,780,5 円		円		
[B] 顧客満足・ サービス 向上	1、CS 結果 (サービス満足)	90%以上	CS 実施予定			
	2、お客様の声 (要望・苦情・満足の声)	90%以上	CS 実施予定			
	3、QOL の向上	年 4 回	重度化・終末期に対して			
[C] 教育訓練	1.内部教育件数	10 件		件		
	2.外部教育件数	3 件	ユマニチュード、ノーリフトケ ア、認知症等	件		

[D] リスク予知対策活動	1. ヒヤリハット件数	55件	ヒヤリハット記録書			
	2. リスク予知対策書	3件	リスク予知対策書			
	3. KYT 研修	2回	教育訓練計画書			
[E] 改善活動	1. 省エネ対策	光熱水費使用 前年比 5%削減	松園省エネ委員会(拠点)			
	2. 業務改善	2件	改善計画書			
[F]他	1.防災対策活動	年3回	総合訓練、炊き出し訓練	回		
	2.地域交流活動	年6回	夏祭り、餅つき、歌声サロン等	回		
	3.地域広報活動	年6回	運営推進会議、ホームページ・ 行事等	回		

MR 評価基準	<p>[評価：S (スペシャル)]大幅な成果を上げた場合</p> <p>[評価：A]計画値達成の場合</p> <p>[評価：B]計画値未達成の場合</p> <p>[評価：C]計画未着手の場合</p>
---------	--

課題	計画目標	年度[目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	1.総サービス提供高	37,835,415円	2020年度MP及び大項目算定根拠資料	円		
	2.経費合計	7,642,668円	加算の見直し	円		
	3.差引収益	30,192,747円	待機者管理の徹底	円		
	4.総時間	13,724.00H	※2019年度 時間当たり 人件費 2,185.5円	H		
	5.時間当り	2,200円	※2019年度MP時間当たり 2,080.0円	円		
[B] 顧客満足・ サービス 向上	サービス内容満足	100%				
	行事計画等改善					
	苦情・要望の吸い上げ		入居者からの苦情・要望の聞き取り実施。 ご家族からの苦情・要望アンケート実施。			
[C] 教育訓練	1.内部教育件数	8件	教育訓練計画書(エリア含む)	件		
	2.外部教育件数	5件		件		

[D] リスク予知対策活動	ヒヤリハット件数	50(件)	ヒヤリハット／発生事故記録書			
	リスク対策報告書発行件数	3(件)	リスク対策報告書			
[E] 改善活動	介護の質を上げる	9(件)	QOL改善（要介護度の軽減）			
	介護プロセスの改善	9(件)	アセスメント・プランの明確化			
	介護記録	9(件)	介護記録で効果の測定			
	医学的管理の目	9(件)	利用者疾病研修			
[F]他	1.防災対策活動	1回	晴ヶ丘拠点防災マニュアル等の研修	回		
	2.地域交流活動	1回	地域の行事に参加する。	回		
	3.地域広報活動	1回	入居のご案内のチラシ作り。	回		

MR 評価基準	<p>[評価：S（スペシャル）] 大幅な成果を上げた場合</p> <p>[評価：A] 計画値達成の場合</p> <p>[評価：B] 計画値未達成の場合</p> <p>[評価：C] 計画未着手の場合</p>
---------	--

課題	計画目標	年度[目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] アメーバ (事業基盤)	総サービス提供高	39,986,253	2020 年度MP 及び大項目算定根拠資料			
	経費合計	7,787,659	ドライブレコーダー4 台			
	差し引き収益	32,198,594				
	総時間	11,336				
	時間当たり	2840.4	前年対比 107%			
[B] 顧客満足度 サービス向 上	①お客様要望・苦情	10 件				
	②マナー向上	80%	拠点に準じて研修、アンケート実施			
[C] 教育訓練	①内部教育研修	12 件	教育訓練計画書			
	②外部教育研修	10 件	教育訓練計画書			
	③有資格者	3 名	ケアマネ、主任ケアマネ、認知症実践者 研修			

[D] リスク予知 対策活動	①ヒヤリハット件数	40 件	ヒヤリハット／発生事故記録書			
	②リスク対策報告書発行件数	2 件	リスク対策報告書			
[E] 改善活動	① 全期間の無事故	0 件	0 運動、運転技術の向上			
	②困難事例の勉強会	2 件	地域・ソーシャル部会への事例提供			
[F] 関連指標	① 有給休暇取得率	70%				
	② 月残業平均	25H	業務効率・分担 アミボイス活用			

MR 評価基準	<p>[評価：S（スペシャル）]大幅な成果を上げた場合</p> <p>[評価：A]計画値達成の場合</p> <p>[評価：B]計画値未達成の場合</p> <p>[評価：C]計画未着手の場合</p>
---------	--

課題	計画目標	2020年度[目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	1.総サービス提供高	10,908,070 円	2020 年度大項目算定根拠	円		
	2.経費合計	2,851,876 円		円		
	3.差引収益	8,056,194 円		円		
	4.総時間	4,028.0H		H		
	5.時間当り	2,000.0 円		円		
[B] 顧客満足・ サービス 向上	介護度改善	10 名以上 内 2 名(自立)	課題整理総括表・ケアプラン			
	重度者の受入れ	30%以上	(要介護 4,5)			
[C] 教育訓練	1.内部教育件数	10 件以上	教育訓練計画書	件		
	2.外部教育件数	6 件以上	外部研修報告書(医療・多職種連携等)	件		

[D] リスク予知対 策活動	ヒヤリハット件数	60 件以上	ヒヤリハット苦情お客様の声			
	リスク対策報告書件数	3 件以内	リスク対策報告書			
	返戻件数	0 件以内				
[E] 改善活動	A 改善【改善研究レポー ト】	1 件	課題達成型の改善研究記録書 課題整理総括表の活用			
	B 改善【5S ミニ改善レ ポート】	1 件	ミニ改善報告書			
[F]他	1.防災対策活動	2 回	避難訓練参加(晴ヶ丘エリア)	回		
	2.地域交流活動	2 回	はるが丘デイと合同	回		
	有給取得	15 日以上(各)	改善計画書	回		
	月残業平均	10 時間以内				

MR 評価基準	<p>[評価：S (スペシャル)]大幅な成果を上げた場合</p> <p>[評価：A]計画値達成の場合</p> <p>[評価：B]計画値未達成の場合</p> <p>[評価：C]計画未着手の場合</p>
---------	--

課題	計画目標	2020年度 [目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	1.総サービス提供高	63,937,104 円	個別機能訓練加算Ⅱ取得、リハの専門性の強化	円		
	2.経費合計	15,636,316 円		円		
	3.差引収益	48,300,788 円		円		
	4.総時間	21,515.00H		H		
	5.時間当り	2,245.0 円		円		
[B] 顧客満足・ サービス 向上	デイ独自の要望・希望調査	90%以上	ニーズ調査			
	お客様要望・苦情	年 20 件	苦情受付 なんでも話せる環境作り			
	ADL維持向上	毎月	バーセルインデックス評価を毎月実施しADL改善指標の作成			
[C] 教育訓練	1.内部教育件数	6 件	教育訓練計画書、随時介護部会、相談部会への参加、外部研修伝達研修の実施	件		
	2.外部教育件数	10 件	リハビリへの専門性強化、ナラティブ・アプローチ研修、多職種連携研修等	件		

[D] リスク予知対 策活動	ヒヤリハット記録	80 件	ヒヤリハット・苦情・お客様の 記録書			
	リスク予知対策	10 件	リスク予知対策書			
	事故報告書	0 件	介護・看護事故報告書			
[E] 改善活動	医療研修実施	2 名	喀痰吸引等研修			
	個別機能訓練計画書	実施対象者	計画、評価の専門性を高める。 (システム導入検討)			
	介護記録	〃	ケース記録、リハ計画、報告書 類 (システム電子化導入)			
	研究発表	12 月頃まで	テーマ (介護記録とその効果)			
[F]他	1.防災対策活動	2 回	三沢拠点全体での総合訓練、デ イ単体での避難訓練実施	回		
	2.地域交流活動	3 回	三沢拠点夏祭り、敬老会、前平 寺子屋等	回		
	3.地域広報活動	2 回	近隣町内会への広報等	回		

MR 評価基準	<p>[評価：S (スペシャル)]大幅な成果を上げた場合</p> <p>[評価：A]計画値達成の場合</p> <p>[評価：B]計画値未達成の場合</p> <p>[評価：C]計画未着手の場合</p>
---------	--

課題	計画目標	年度[目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	1.総サービス提供高	41,039,321 円	R 2年度MP大項目算定根拠資	円		
	2.経費合計	16,564,707 円	料参照	円		
	3.差引収益	24,474,614 円		円		
	4.総時間	12,226.00H		H		
	5.時間当り	2,001.8 円		円		
[B] 顧客満足・ サービス 向上	1.C S 結果(サービス満足)	90%以上	サービス内容ヒアリング調査 行事予定・計画書による実施			
	2.介護予防プログラムの 見直し	12 月末まで	口腔ケア・体操・認知症ケア			
	3.保険外サービスの見直し	12 月末まで	ニーズ調査・実施			
[C] 教育訓練	1.内部教育件数	10 件	教育訓練計画書参照	件		
	2.外部教育件数	3 件	ユマニチュード・ノーリフトケ ア等	件		

[D] リスク予知対策活動	1 ヒヤリハット記録	40 件	ヒヤリハット			
	2 苦情・お客様の声記録	3 件	苦情・お客様の声記録書			
	3 リスク予知対策書	2 件	リスク予知対策書			
[E] 改善活動	1 省エネ対策	光熱水費使用料 前年比 5 %削減	松園省エネ委員会			
	2 介護記録システム活用	介護記録見直し	改善計画書			
[F]他	1.防災対策活動	年 3 回	総合訓練・炊き出し訓練	回		
	2.地域交流活動	年 6 回	夏祭り・歌声サロン等	回		
	3.地域広報活動	年 2 回	広報誌・HP	回		

MR 評価基準	<p>[評価：S (スペシャル)]大幅な成果を上げた場合</p> <p>[評価：A]計画値達成の場合</p> <p>[評価：B]計画値未達成の場合</p> <p>[評価：C]計画未着手の場合</p>
---------	--

課題	計画目標	年度[目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	1.総サービス提供高	42,333,195 円	2020 年度 MP 及び	円		
	2.経費合計	12,729,845 円	大項目算定根拠資料	円		
	3.差引収益	29,603,350 円		円		
	4.総時間	13,769H		H		
	5.時間当り	2,150 円		円		
[B] 顧客満足・ サービス 向上	1.お客様要望・苦情	年 2 回	お客様・家族よりヒアリング			
	2.介護度改善	2 名	総合事業から自立へ 片麻痺でもクッキング			
[C] 教育訓練	1.内部教育件数	12 件	教育訓練計画表に策定	件		
	2.外部教育件数	3 件	外部研修報告書	件		

[D] リスク予知対策活動	ヒヤリハットの分析	年 2 回	ヒヤリハット記録書			
	リスク対策報告書件数	2 件	リスク予知対策書			
[E] 改善活動	1.業務改善	2 件	課題達成型の改善研究記録書			
	2.5S 活動	2 件	ミニ改善記録報告書			
	3.有給休暇取得	10 日以上	有給管理台帳			
[F]他	1.防災対策活動	年 2 回	防災訓練年間計画	回		
	2.地域交流活動	年 2 回	年間スケジュールに策定	回		
	3.地域広報活動	年 2 回	法人 HP 記事掲載	回		

MR 評価基準	<p>[評価：S（スペシャル）]大幅な成果を上げた場合</p> <p>[評価：A]計画値達成の場合</p> <p>[評価：B]計画値未達成の場合</p> <p>[評価：C]計画未着手の場合</p>
---------	--

課題	計画目標	2020年度 [目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	1.総サービス提供高	81,486,373 円	前年度より 106.8%の収入を目指す。内部収入 117%増。外部収入(医療保険含) 102%の増。	円		
	2.経費合計	14,772,096 円	訪問看護 ICT 化導入。	円		
	3.差引収益	66,714,277 円	82%維持。 差引収益 107.7%増。	円		
	4.総時間	25659.0H	看護部門 6 人、リハビリ部門 7 人の常勤換算とする。リハビリ部門の時間移動契約は 415 時間。時間外労働時間は 240 時間。	H		
	5.時間当り	2,600 円		円		
[B] 顧客満足・サービス向上	お客様要望・苦情	20 件	GOOD 12 件以上			
[C] 教育訓練	1.内部教育件数	月平均 1 回	外部研修報告、学習会、カンファレンスなど月 1 回実施していく。	件		
	2.外部教育件数	年間 12 件	平均月 1 名の外部研修を計画。	件		
	3.有資格要件者人数	1 名	精神科訪問看護算定要件	名		

[D] リスク予知対策活動	1.ヒヤリ・ハット件数	50 件	業務が忙しくなると報告書提出が雑になる為、日々業務の終わりには1日の反省をする時間が持てるよう習慣化していく。			
	2.リスク対策報告書発行件数	3 件				
[E] 改善活動	1.QOL プラン改善 在宅看取り件数	12 件	他部門と協働しマネジメントできるようにする。			
	2.職場環境改善 1 時間外業務時間	240 時間	看護部門月 180 時間 リハビリ部門 60 時間			
	3.職場環境改善 2 年間有休取得 3 日以上	7 日以上/年				
[F]他	1.防災対策活動	回	楽晴会看護師としての役割をみつける。	回		
	2.地域交流活動	回		回		
	3.地域広報活動	回		回		

MR 評価基準	<p>[評価：S (スペシャル)]大幅な成果を上げた場合</p> <p>[評価：A]計画値達成の場合</p> <p>[評価：B]計画値未達成の場合</p> <p>[評価：C]計画未着手の場合</p>
---------	--

課題	計画目標	令和2年度 [目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	1.総サービス提供高	40,834,376 円	・介護、障害、区分を問わず総合的な顧客の増数。 ・訪問介護事業所の少ない六戸地区のニーズ発掘。	円		
	2.経費合計	9951795 円		円		
	3.差引収益	30,882,581 円		円		
	4.総時間	17,955.0H	・記録ソフト活用によるデスクワークの削減 ・登録ヘルパー2名の獲得	H		
	5.時間当り	1,720 円	訪問稼働率の向上 目標56%	円		
[B] 顧客満足・ サービス 向上	苦情受付と改善活動	10件	担当設置によって 推進を図る。			
[C] 教育訓練	1.内部教育件数	12件	担当者設置にてサービス 状況より随時計画実施。	件		
	2.外部教育件数	6件	介護技術4件 マネジメント2件	件		

[D] リスク予知対 策活動	ドライブレコーダーの 設置	全車6台				
	ヒヤリ気づきの推進	月当たり10件	担当設置			
[E] 改善活動	介護技術の向上 ユマニチュード技術	上記研修参加他 マニュアル作成				

MR 評価基準	[評価：S (スペシャル)]大幅な成果を上げた場合 [評価：A]計画値達成の場合 [評価：B]計画値未達成の場合 [評価：C]計画未着手の場合
---------	---

課題	計画目標	年度[目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	1.総サービス提供高	13,332,665 円	・六戸ニーズの獲得	円		
	2.経費合計	4,291,834 円		円		
	3.差引収益	9,040,831 円		円		
	4.総時間	5,948H		H		
	5.時間当り	1.520 円		円		
[B] 顧客満足・ サービス 向上	訪問入浴技術交換会の 開催	1 回	近隣の訪問入浴事業所へ 打診し、技術交換会を開催する。			
[C] 教育訓練	1.内部教育件数	1 2 件	担当者設置にて随時開催	件		
	2.外部教育件数	4 件		件		

[D] リスク予知対 策活動	【B】技術交換会を 通しての入浴設備 管理の見直し	1回	管理規定更新			
[E] 改善活動	入浴効果の調査	研究発表 又は報告発表	上記外部研修、技術交換会を基 に検証。			

MR 評価基準	<p>[評価：S（スペシャル）]大幅な成果を上げた場合</p> <p>[評価：A]計画値達成の場合</p> <p>[評価：B]計画値未達成の場合</p> <p>[評価：C]計画未着手の場合</p>
---------	--

課題	計画目標	年度[目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	1.総サービス提供高	45,546,446 円	3月で退所される方が7名いる	円		
	2.経費合計	11,754,870 円	が新規獲得していく。	円		
	3.差引収益	33,937,279 円		円		
	4.総時間	14,080.0H		H		
	5.時間当り	2,400.0 円		円		
[B] 顧客満足・ サービス 向上	① 児童の満足度	95%	顧客満足度調査による。			
	② 療育についてのサービス 対応	95%	事業所独自で行っている自己評 価アンケート公表。			
	③ 職員の対応	95%				
[C] 教育訓練	1.内部教育件数	8/40 件	教育訓練計画書	件		
	2.外部教育件数	7/7 件	教育訓練計画書	件		

[D] リスク予知対策活動	① ヒヤリハット件数	70 件	ヒヤリ気づきノート			
	② リスク対策報告書発行件数	2 件	リスク対策報告書			
[E] 改善活動	① 感染予防インフルエンザ罹患件数	0 件	感染症対策の勉強会の実施			
	② A 改善 [改善研究レポート]	1 件	改善計画書			
	③ B 改善 [5S ミニ改善]	5 件	改善計画書			
	④ 予防処置発行件数	1 件	予防処置報告書			
[F]他	1.防災対策活動	12 回	避難訓練実施	回		
	2.有給休暇取得	70%	勤務調整	%		
	3.月残業時間平均	0 時間	業務分担と業務効率化	時間		

MR 評価基準	<p>[評価：S (スペシャル)]大幅な成果を上げた場合</p> <p>[評価：A]計画値達成の場合</p> <p>[評価：B]計画値未達成の場合</p> <p>[評価：C]計画未着手の場合</p>
---------	--

課題	計画目標	年度[目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	1.総サービス提供高	43,008,489 円	4月に転居・卒業等で退所され	円		
	2.経費合計	11,146,114 円	る児童が4名。新規1名。	円		
	3.差引収益	31,862,375 円	単価の高い児童発達の減少に	円		
	4.総時間	13,276.0H	より、昨年度より低い時間あた	H		
	5.時間当り	2,400.0 円	りとなっている。	円		
[B] 顧客満足・ サービス 向上	① 児童の満足度	95%	顧客満足度調査による。			
	② 療育についてのサービス 対応	95%	事業所独自で行っている自己評 価アンケート公表。			
	③ 職員の対応	95%				
[C] 教育訓練	1.内部教育件数	8/40 件	教育訓練計画書	件		
	2.外部教育件数	7/7 件	教育訓練計画書	件		

[D] リスク予知対策活動	① ヒヤリハット件数	60 件	ヒヤリ気づきノート			
	② リスク対策報告書発行件数	2 件	リスク対策報告書			
[E] 改善活動	① 感染予防インフルエンザ罹患件数	0 件	感染症対策の勉強会の実施			
	② A 改善〔改善研究レポート〕	1 件	改善計画書			
	③ B 改善〔5S ミニ改善〕	5 件	改善計画書			
	④ 予防処置発行件数	1 件	予防処置報告書			
[F]他	1.防災対策活動	12 回	避難訓練実施	回		
	2.有給休暇取得	70%	勤務調整	%		
	3.月残業時間平均	0 時間	業務分担と業務の効率化	時間		

MR 評価基準	<p>[評価：S（スペシャル）]大幅な成果を上げた場合</p> <p>[評価：A]計画値達成の場合</p> <p>[評価：B]計画値未達成の場合</p> <p>[評価：C]計画未着手の場合</p>
---------	--

課題	計画目標	年度[目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	1.総サービス提供高	34,950,818 円	・児童指導員等加配加算取得	円		
	2.経費合計	11,044,076 円	2020年度MP及び大項目算定根拠資料	円		
	3.差引収益	23,906,742 円	営業活動の強化	円		
	4.総時間	12,866H	・専門職の募集(配置)と体制継続	H		
	5.時間当り	1,858.1 円	新規獲得し目標時間当たりを目指す	円		
[B] 顧客満足・ サービス 向上	①児童の満足度	90%	顧客満足度調査による			
	②療育についてのサービス対応	90%	事業所独自で行っている自己評価アンケート公表			
	③職員の対応	90%				
[C] 教育訓練	1.内部教育件数	10 件	教育訓練計画表にて実施	件		
	2.外部教育件数	7 件	外部研修報告書	件		
			(関係団体の研修に参加)			

[D] リスク予知対 策活動	ヒヤリハット件数	80回	ヒヤリハット記録書			
	リスク対策報告書件数	3件	リスク対策報告書発行			
[E] 改善活動	1.業務改善	2件	課題達成型の改善研究記録書			
	2.5S活動	2件	ミニ改善記録報告書			
[F]他	1.防災対策活動	年2回	防災マニュアルの完成し運営 マニュアルに沿った訓練	回		
	2.有給休暇取得率	70%	有給管理台帳	回		
	3.月残業時間平均	0時間	業務分担と業務効率化	回		

MR 評価基準	<p>[評価：S（スペシャル）]大幅な成果を上げた場合</p> <p>[評価：A]計画値達成の場合</p> <p>[評価：B]計画値未達成の場合</p> <p>[評価：C]計画未着手の場合</p>
---------	--

課題	計画目標	年度[目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	相談支援 時間当たり (地域共生社会対応) 総サービス提供高 経費合計 差引収益 総時間 時間当り 職員配置(相談) 管理者 岡部(兼務) 主任相談支援 中嶋 相談支援専門員 北村 小泉、若崎	43,015,623 11,875,235 31,140,388 15,562.00 2,001.1	特定事業所加算Ⅲ→Ⅰ算定 ※専従常勤職員4名配置 ※基幹相談支援センター試案 行動障害支援体制加算 ※重度障害者意思決定支援 要医療児者支援体制加算 ※レスパイトケア(三老建て替え 計画への提案、訪看連携) 精神障害者支援体制 ※地域移行、地域定着支援 ※精神障害にも対応した地域包 括ケアシステム			
	市町村委託事業 ① 地域活動支援センターⅠ 型(三沢市、おいらせ町) 職員配置(地活) 管理者 岡部(兼務) 相談員 芳野・大塚(専任) ② 三沢障害福祉計画第 5期)及び障害児福祉 計画(第1期) ※常勤1名採用	三沢市 10名 おいらせ町 10名	(1) 基礎的事業(2名以上の職員 配置、うち1名専任者) (2) 地域活動支援センター機能強 化事業 (Ⅰ型:(1)による職員の 他1名以上配置、うち2名以上を常 勤) ※兼務可 (1) 地域生活支援拠点整備等の促 進事業 ・相談 ・緊急時の受け入れ対応(三沢市緊			

	<p>三沢市：中岫 他 おいらせ町：岡部 東北町：中岫</p> <p>三沢市： 三沢市：岡部</p>	採用 1 名	<p>急時ステイ事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験の機会・場 (三沢市障がい者地域生活コーディネート事業) 24H対応 ・専門的人材の確保・養成 ・地域の体制づくり <p>(2) 障害者支援協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談部会参加 ・地域生活支援拠点整備の確認、調整、専門的人材の確保・養成の計画 (各加算算定根拠となる研修会のフォローアップ研修) ・コミュニティソーシャルワークの実践 ・多職種連携 <p>(3) 第 6 期障害福祉計画 (4) 精神障害者家族会</p>			
	認定調査	50 件	(三沢市、六戸町、おいらせ町)			
	障害者虐待防止センター	3 件				
	手話講習会	5～11 月				
[B] 顧客満足度・サービス向上	多問題ケース対応	防災対策検討 1～2 回	主担、副担 2 名体制ケース対応 相談ケースの地区割り分担			
	顧客満足度調査	年度内に実施				
	三沢市共生社会を推進するための条例 (共生のこころ育む条例)		第 2 節 情報所得、意思決定及び意思疎通 (郵送文書のルビ、平易な表現、筆談、コミュニケーションボード、代筆等の支援)			
[C] 教育訓練	ソーシャルワークの思考法を学ぶ		<ul style="list-style-type: none"> ・OJT評価表の見直し ・人材育成 (目標管理シートの活用) 			

	内部研修	年間 10 回	☆教育訓練計画表 ※必要に応じて伝達研修あり			
	外部研修	4～5 回	8 月チカラフォーラム（東京都） 9 月リハビリフォーラム（東京都） 医療的ケア児、地域移行 主任ケアマネ（岩手県）			
[D] リスク予知対策活動	コンプライアンス	年 1 回	自主点検（2 月）			
	ガバナンス	年 1 回	年 1 回 障害部門内 ISO 内部監査（11 月）又は、サーベイランス			
	ヒヤリハット リスク予知、事故報告	50 件 3 件	2018/8～2019/3 22 件 0 件			
[E] 改善活動	地域活動支援センター様式の標準化		I S O 文書登録（年間計画等）			
	拠点発信の C S R 活動	お仕事説明会 2 回 ゆうとぴあ配布（100 部）	取り巻く顧客や従業員等、ステークホルダーからの期待やニーズに答える。法人、事業所の情報発信			
[F] 関連指標	働き方改革（有給休暇取得、離職防止）	有給休暇 取得日数の 70% 離職者 0 名	小規模版ストレスチェック実施（12～1 月） ☆リスク予知対策活動一覧表（20 - 2）			
	人材育成	1 名	資格取得（スクーリング等の休暇）			

MR 評価基準	<p>[評価：S（スペシャル）] 大幅な成果を上げた場合</p> <p>[評価：A] 計画値達成の場合</p> <p>[評価：B] 計画値未達成の場合</p> <p>[評価：C] 計画未着手の場合</p>
---------	--

課題	計画目標	年度[目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	多機能型 時間当たり R1 MP1,029.1 円	拠点 1,269.8 円				
	A型 総サービス提供高 経費合計 差引収益 総時間 時間当たり	16,399,577 22,068,848 ▲5,669,271 16,352.00 ▲346.7	新規利用者 1名 □G経営改善計画書(飲食店収 入)年間客数6,450名 7,095,000 円の売り上げ			
	B型 総サービス提供高 経費合計 差引収益 総時間 時間当たり	64,589,140 24,095,699 40,493,441 18,539.00 2,184.2	施設外就労加算の追加算定 緑化公社(利用者3名×5日×52 週)分 780,000円増) 新規利用者 1名 職員採用 1名			
	移行 総サービス提供高 経費合計 差引収益 総時間 時間当たり	14,674,191 5,777,143 8,897,048 6,729.00 1,322.2	新規利用者 1名 ☆改善計画書(20-3)			
	生活 総サービス提供高 経費合計 差引収益 総時間 時間当たり	20,979,415 8,995,280 11,984,135 9,521.00 1,258.7	☆改善計画書(20-4)			

[B] 顧客満足度・サービス向上	A型 ※アビリンピック	HP、FB更新 インスタグラ ムの検討、実施	レストラン営業（メニュー変更4～6回） 外部物販（パラリンピック企画） □G経営改善計画書 ハサップ（衛生管理） ☆リスク予知対策活動一覧表（20-1）			
	B型 ※平均工賃アップ	平均工賃50,000円 （2020年度 30,000円） （菓子製造に 4,000,000円 規模に）	☆リスク予知対策活動一覧表（20-5） □G工賃向上計画書（活動収入計14,582,684円、うち菓子製造部門3,578,684円） ☆リスク予知対策活動一覧表（20-6）			
	重度・高齢化、若年性認知症対応B型 ※生きがいとしての就労	平均工賃3,000～5,000円	☆改善計画書（20-6）			
	就労移行・定着	就職者 3名 定着支援1～2名 就労ハート作成 5名	就職者3割以上の単位を維持			
	顧客満足度調査	年度内実施 年2回	全事業所 c a f e顧客アンケート			
	三沢市共生社会を推進するための条例（共生のこころ育む条例）		第2節 情報所得、意思決定及び意思疎通（郵送文書のルビ、平易な表現、筆談、コミュニケーションボード、代筆等の支援）			

[C] 教育訓練 K-05	ソーシャルワークの思考法を学ぶ		○ J T 評価表の見直し 人材育成（目標管理シート活用）			
	内部研修	10 回	☆教育訓練計画表 ※必要に応じて伝達研修あり			
	外部研修		青森県自閉症支援研究会（年 4～5 回） 11 月 全 A ネット（宮城県） 12 月 就労支援フォーラム（東京都） 11 月国際福祉機器展又は EXPO			
	サービス管理責任者と準サービス管理責任者による個別支援計画作成	更新研修 4 名 基礎研修 3 名	サビ管：小笠原麻、江澤 準サビ管：加治屋、館 ※新カリキュラム受講候補者 須藤、鳴海（有資格+3 年） 小笠原純（主事+5 年） 小笠原国（無資格 8 年）			新カリキュラム完全移行までにかかる期間 4 年を想定（中期的計画）（2024 年）
[D] リスク予知対策活動	コンプライアンス	年 1 回	自主点検の実施（2 月） 栄養成分表示（食品表示法） H A C C P 制度（食品衛生法）			
	ガバナンス	年 1 回	障害部門内 ISO 内部監査（11 月） 又は、サーベイランスを受ける			
	ヒヤリハット	200 件	2018/8～2019/3（A：37 件、B・移行 34 件、生活 21 件）			
	リスク予知、事故報告	5 件	2 件			
[E] 改善活動	5S 活動の実施	定期点検記録作成、実施	2019 年度実施の ANA カイゼン ☆改善計画書（20-1）			
	拠点発信の CSR 活動	お仕事説明会	取り巻く顧客や従業員等、ステークホル			

		2回 ゆうとぴあ配布 (配布 100 部)	ダークの期待やニーズに応える。 法人、事業所の情報発信 (職員 1 部ずつ+家族+取引企業等)			
[F] 関連指 標	働き方改革 (有給休暇取 得、離職防止)	有給休暇 取得日数の 70% 離職者 0 名	小規模版ストレスチェック実施(12~1 月) ☆リスク予知対策活動一覧表 (2 0-2)			
	防災関連	必要量 拠点で 2 名	期限切れ食料品の備蓄 ☆リスク予知対策活動一覧表 (2 0-3) 防災士の受講、取得支援			
	人材育成	2 名	国家資格その他 (社会福祉主事、 ジョブコーチ) 取得に向けた応援 (試験、スクリーニング等の休暇)			
	妊産婦、育児環境の良い 職場づくり	採用 1 名	男性・女性職員問わず、育児休暇、 産前・産後休暇を取得しやすい環 境づくり。			

MR 評価基準	<p>[評価：S (スペシャル)] 大幅な成果を上げた場合</p> <p>[評価：A] 計画値達成の場合</p> <p>[評価：B] 計画値未達成の場合</p> <p>[評価：C] 計画未着手の場合</p>
---------	---

課題	計画目標	年度[目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	共同生活援助 時間当 たり (既存サービス) 総サービス提供高 経費合計 差引収益 総時間 時間当り	10,600,936 8,874,404 1,726,532 3,012.00 573.2	(新規サービス) ☆改善計画書 (20-5)			
[B] 顧客満 足度・サー ビス向上	既存サービスの充実	時間増	土日・祝日の対応を強化			
	待機者の把握	書式にまとめる	☆改善計画書 (20-2)			
	顧客満足度調査	年度内実施				
	三沢市共生社会を推進 するための条例 (共生 のこころ育む条例)		第2節 情報所得、意思決定及び意思疎通 (郵送文書の比、平易な表現、筆談、コミュ ニケーションボード、代筆等支援)			
[C] 教育訓 練	内部研修	年間10回	☆教育訓練計画表			
	外部研修	年1~2回	世話人対象又は運営等に関する			
[D] リスク予 知対策活 動	コンプライアンス	年1回	自主点検の実施 (2月)			
	ガバナンス	年1回	障害部門内 ISO 内部監査(11月)又は、 サーベイランス			
	ヒヤリハット リスク予知、事故報告	12件 2件	2018/8~2019/3 1件 0件			
[E] 改善活 動	拠点発信のCSR活動	ゆうとぴあ配布 100部	取り巻く顧客や従業員等、ステークホルダー からの期待やニーズに応える。			

[F] 関連指標	働き方改革(有給休暇取得、離職防止)	有給休暇 取得日数の70% 離職者0名	小規模版ストレスチェック実施検討(12~1月) ☆リスク予知対策活動一覧表(20-2)			
----------	--------------------	---------------------------	--	--	--	--

MR 評価基準	<p>[評価：S(スペシャル)] 大幅な成果を上げた場合</p> <p>[評価：A] 計画値達成の場合</p> <p>[評価：B] 計画値未達成の場合</p> <p>[評価：C] 計画未着手の場合</p>
---------	--

(案)

課題	計画目標	R2年度[目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	1.総サービス提供高	73,262,753円	大項目算定資料	円		
	2.経費合計	25,547,114円		円		
	3.差引収益	11,453,607円		円		
	4.総時間	4,899.00H		H		
	5.時間当り	1,800円		円		
[B] 顧客満足・ サービス 向上	手順の統一	2020/12月 末まで	業務とケア手順書の見直し改定 を行う 早・日・遅・夜勤・入浴・送迎・ (調理)			
	必要な情報提供と共有	2020/7 末まで	必要な情報を見やすく簡潔に。 実施記録のフォーマット改正			
	ケアの統一		情報共有の整理と実践のサイク ルのスピードを上げる為、デス クネットスの活用とカンファの実 施。			
[C] 教育訓練	1.内部教育件数	8件	接遇、感染症、口腔ケア、熱中 症、食中毒、虐待防止、緊急時 の対応、家族支援について	件		
	2.外部教育件数	5件	認知症基礎研修(新入職者)・介 護実践者研修2名、認知症リー	件		

			ダー研修 1 名 精神・医療的ケアの研修に 1 名 介護支援専門員更新研修Ⅱ 1 名			
	3.常勤 8 名での夜勤体制の確立	2021/3 末まで	夜勤のケア統一の為、R2 クラス職員による研修同行を行ない、全ての常勤職員が夜勤業務行える体制づくり			

Page : 1/2

[D] リスク予知対策活動	① 予防活動	ミニ改善 4 件	実地指導で指摘があった清掃・整理整頓・設備・防災に関する改善、			
	② ヒヤリハット	150 件	ヒヤリ、気づき合算			
[E] 改善活動	管理者業務の効率化と削減	2021/3 月末まで	以下の業務は職員が行い、管理者は指示、最終確認を行う流れを確立する ・経費見積もり計算表を（現在作成中）用いた MR 採算表の毎月の作成、			

		<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者様の次月の利用一覧表（通い・訪問）毎月の情報収集及び作成、 ・毎日の朝、昼、夕の食事数の確認、変更及び給食食材注文、毎月の経費見積もり、確定額の計算 ・日用品など経費見積もり、支払額の事前見積もり作成 ・車両日報の計算、確認 ・府中市への書類の提出（送迎前後に誰が提出してもいいものに限る） ・入電、見学者対応 ・タイムキーパー打刻失念回数の削減 			
	全職員、有休休暇の 7 割以上消化	<ul style="list-style-type: none"> ・有休発生月に個別にて促し ・会議や朝礼での使用呼びかけ 			
	誰が休んでも統一したケアが提供できる体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有の方法 ・経費や業務の担当者を単独から複数名に ・送迎、訪問の R2 職員による同行研修行い、知恵と工夫と不安と気づきをお互いに学ぶ 			
	CO2 削減	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問、送迎ルートの見直し、電動自転車使用にて CO2 の削減 			

[F]他	1.防災対策活動	計 5 回	事業所内外防災訓練（火災、地震、水害、夜間想定、通報、AED使用方法）	回		
	2.地域交流活動	10 回	団地商店街イベント、団地防災訓練に参加、中学生職場体験受け入れ、認知症カフェにコラボご利用者様と参加	回		
	3.地域広報活動	8 回	・上記参加時にチラシ、新聞作成、配布や事業所の取り組みのPR	回		

MR 評価基準	<p>[評価：S（スペシャル）]大幅な成果を上げた場合</p> <p>[評価：A]計画値達成の場合</p> <p>[評価：B]計画値未達成の場合</p> <p>[評価：C]計画未着手の場合</p>
---------	--

課題	計画目標	2020年度 [目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	1.総サービス提供高	34,331,828円	月最低2名(2/w)の新規獲得、既存利用の方の増回、管理者が率先して有給休暇を取得(上半期3日以上)、経費(アメーバ)についての研修を行い、節減効果の確認の実施。以上を踏まえ達成する	円		
	2.経費合計	20,924,846円		円		
	3.差引収益	13,406,982円		円		
	4.総時間	14,252.00H		H		
	5.時間当たり	940.7円		円		
[B] 顧客満足・ サービス 向上	1.サービスの質の維持・向上	サービス内容、要望や希望などを含めたアンケートを実施する(年2回予定)	現在利用の方は当日の雰囲気気に入って利用されているが、今後は利用人数増加を見込み、質の低下が懸念される。満足度の低下を起こさないよう、お客様目線の意識を持つための教育、取り組みを月1で行い振り返りを実施する			
	2.お客様目線の意識づけ					
[C] 教育訓練	1.内部教育件数	10件	R1、R2研修への参加を確実にすること。加えて外部研修(認知症基礎研修etc)を行ったあとの伝達・内部研修をその都度実施。その他は常勤・非常勤問わず、最低ひとつは研修を担当する	件		
	2.外部教育件数	4件		件		
	3.アメーバを基にした					
	運営についての研修	管理者より随時				

[D] リスク予知対策活動	1.ヒヤリハット・苦情 お客様の声活用	1日1件目標	ヒヤリハット・苦情・お客様の声を最大限に活用。それを基に「リスク」という部分に重きを置き、起こりうる場面、出来事を想定し、未然に防ぐ方法を各職員に考えてもらい意見徴収する					
	2.リスク予知対策 ・リスクを考える ・未然に防ぐ	(上半期実施)						
	[E] 改善活動	1.受入態勢を整備する ための職員確保		車返コラボと 連携し採用 (兼任勤務も)	相談案件を利用へ確実につなぐため職員を確保する。以前参加したお仕事カフェ(説明会)等への参加			
		2.送迎業務の負担軽減		運転担当採用		職員の送迎業務の負担が大きいため、軽減行うべく運転担当の採用を行う		
[F]他	3.介護の質の向上	自立支援の意識 (上半期めど)	職員による技術の差が大きいことから生ずる支援のバラつき解消へ「自立支援」の意識で接することを共有					
	4.職員の有休7割取得							
[F]他	1.防災対策活動	3回	防災について法定訓練実施はもちろんのこと、地域の防災拠点の役割を担えるように備蓄など整備を行う(年度内)。ささえあい協議会等、地域の集まりへ毎月の参加を継続、地域貢献の一助を担う	回				
	2.地域交流活動	12回		回				
	3.地域広報活動	12回		回				

MR 評価基準	<p>[評価：S (スペシャル)]大幅な成果を上げた場合</p> <p>[評価：A]計画値達成の場合</p> <p>[評価：B]計画値未達成の場合</p> <p>[評価：C]計画未着手の場合</p>
---------	--

課題	計画目標	年度[目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	1.総サービス提供高	644,725,740 円	大項目策定根拠	円		
	2.経費合計	295,493,583 円		円		
	3.差引収益	349,232,157 円		円		
	4.総時間	198,264.8H		H		
	5.時間当り	1761.4 円		円		
[B] 顧客満足・ サービス 向上	1. アンケートの実施	年 1 回	9 月請求書同封にて実施			
	2. 認知症カフェ	月 1 回	7 月より毎月実施			
	3.お客様、地域の方への 介護教室	年 1 回	11 月実施			
[C] 教育訓練	1.内部教育件数	年 12 件	教育訓練計画書	件		
	2.外部教育件数	年 22 件	研修報告書	件		
	3.外国人教育	年 6 回	ベトナム人 8 名との MTG (生活面、仕事面、日本語教育などを話し合う)			
	4.ユニットケア介護の質向上 研修	年 6 回	研修計画書 (ユニットリーダー研修、ユニットケア研修、その伝達研修)			
	5.楽晴会ケアの信条研修	年 2 回	研修計画書			
	6.喀痰吸引	3 名	介護職員喀痰吸引研修参加			

[D] リスク予知対 策活動	1.ヒヤリハット報告書 開始	年 60 件	今年度より楽晴会フォーマット を用い実施			
[E] 改善活動	職員採用強化（直接雇用 職員の充実）	年 22 名採用	ネット媒体、会社説明会、介護イベ ント、学校回り、ポスティング等			
	離職率低下策		職員 3 ヶ月に一度面談、入職時 1 日目丁寧なオリエンテーション			
	看護師のユニット配置		介護員不足のため看護師をユニ ットシフトにいれる			
[F]他	防災計画の充実		成城消防署、世田谷区、町内会、民生委 員との協調による防災プログラム作成	回		
	残業時間削減	月 345H以下	タイムキーパーにて管理（前年 直近 2 ヶ月平均 752.9H）	回		
	小中高対象 地域福祉	年 7 回	昨年度行った小中高高校生に対す る施設見学、職場体験充実化	回		
	障害事業調査		調査開始（渡辺）			
	低所得者対策		調査開始（相談員）			
	隣接施設との交流	年 12 回	青少年交流センター、保育園と の交流イベント			

MR 評価基準	[評価：S（スペシャル）]大幅な成果を上げた場合
	[評価：A]計画値達成の場合
	[評価：B]計画値未達成の場合
	[評価：C]計画未着手の場合

課題	計画目標	年度[目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	1.総サービス提供高	48,801,537 円	大項目策定根拠 MP	円		
	2.経費合計	31,736,911 円		円		
	3.差引収益	21,170,336 円		円		
	4.総時間	12,289.0H		H		
	5.時間当り	1722.7 円		円		
[B] 顧客満足・ サービス 向上	1.トラス会の運営	年4回	6月9月12月3月実施			
	2.アンケートの実施	年4回	6月9月12月3月実施			
	3.地域行事への参加	年3回	利用者さんと地域納涼祭、秋祭り等に参加していく			
[C] 教育訓練	1.内部教育件数	年7件	教育訓練計画書	件		
	2.外部教育件数	年6件	研修報告書	件		
	3.身体拘束廃止委員会(トラス独自でも行う)	年4回	委員会計画書			
	4.他都市型軽費との交流	年2回	研修計画書			
	5.楽晴会ケアの信条研修	年2回	研修計画書			

[D] リスク予知対 策活動	1.ヒヤリハット報告書提出	年 50 件	今年度より楽晴会フォーマット を用い実施			
[E] 改善活動	青少年交流センターから のボランティア強化	5 名	昨年度 3 名よりセンター長との 面談にて関係強化			
	職員効率化を図る	常勤換算 5.4⇒5.2	職員の効率を図り 0.2 常勤換算 下げた職員数で運営する			
	離職率低下	離職率 0%	3 ヶ月に 1 度以上の面談			
	常時待機者 1 名必須	常に 1 名	退去があっても 5 日以内に入居と なる体制作り			
[F]他	防災計画の充実	2 回	地域との協力防災訓練、トラス ト独自のマニュアル作成	回		
	残業時間削減	月 3 H 以下	タイムキーパーにて管理	回		
	小中高対象 地域福祉	年 7 回	昨年度行った小中高校生に対す る施設見学、職場体験充実化	回		

MR 評価基準	<p>[評価：S (スペシャル)] 大幅な成果を上げた場合</p> <p>[評価：A] 計画値達成の場合</p> <p>[評価：B] 計画値未達成の場合</p> <p>[評価：C] 計画未着手の場合</p>
---------	--

課題	計画目標	年度[目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	1.総サービス提供高	81,151,795 円	大項目策定根拠	円		
	2.経費合計	19,504,257 円		円		
	3.差引収益	61,647,538 円		円		
	4.総時間	22,832.0H		H		
	5.時間当り	2,700.0 円		円		
[B] 顧客満足・ サービス 向上	1.個別アクティビティの充実	月 1 回	小規模多機能型居宅介護計画書			
	2.個別外出支援	月 1 回	小規模多機能型居宅介護計画書			
[C] 教育訓練	1.内部教育件数	12 件	認知症ケア、接遇マナー	件		
	2.外部教育件数	6 件	世田谷区実施の研修へ 3 回参加	件		
	(全国、都小多機連絡会 への入会)		小多機連絡会開催の研修に年 3 回参加。			

[D] リスク予知対策活動	1.ヒヤリハット報告書提出	年 200 件	朝夕の申し送りでリスク共有			
	2.KYT 実施	年 2 回	教育訓練計画書			
	3.苦情、お客様の声記録	年 3 件	苦情・お客様の声記録書			
	4.リスク予知対策書	年 2 件	リスク予知対策書を基に部門会議 を通して共有			
[E] 改善活動	1.働きやすい職場環境					
	①残業時間の管理	月 20.0h 以内	勤怠管理による残業の軽減			
		ノー残業デー	週一日のノー残業デー設定			
	②有給休暇の積極取得	取得率 70%				
[F]他	1.防災対策活動	年 2 回	防災計画、運営推進委員を招いての防災訓練実施	回		
	2.地域交流活動	年 5 回	地域防災訓練、祭り等への参加	回		
	3.地域広報活動	年 6 回	法人 HP、SNS 定期掲載	回		

MR 評価基準	<p>[評価：S（スペシャル）]大幅な成果を上げた場合</p> <p>[評価：A]計画値達成の場合</p> <p>[評価：B]計画値未達成の場合</p> <p>[評価：C]計画未着手の場合</p>
---------	--

課題	計画目標	年度[目標値]	実施計画等	結果	MR 評価	事業報告結果コメント
[A] MP (事業基盤)	1.総サービス提供高	1,479,000 円	令和元年10月料金改定運輸局変更済	円		
	2.経費合計	929,160 円	令和2年ドラレコ領収書・ガソリン経費	円		
	3.差引収益	563,040 円		円		
	4.総時間	1104.0 時間	時間移動 生活支援 100 時間	H		
	5.時間当り	510.0 円		円		
[B] 顧客満足・ サービス 向上	① ニーズ調査	50 件	アンケート調査内容変更 (居宅・地域・個人)			
[C] 教育訓練	①介護タクシー職員の 質の向上・研修	3 件	外部研修（適正研修）・感染 マナー	件		

[D] リスク予知対 策活動	① 事故ゼロの取り組み	12 カ月	始業前点検徹底 様式変更			
	②ヒヤリ気づき	12 件				
[E] 改善活動	①お客様の声分析	80 件	利用時のお客様からの声			
[F]他	生活支援部門の充実	840 時間	自施設の作業環境圃場、他施設時間		回	
			移動（設備補修）		回	
					回	

MR 評価基準	<p>[評価：S（スペシャル）]大幅な成果を上げた場合</p> <p>[評価：A]計画値達成の場合</p> <p>[評価：B]計画値未達成の場合</p> <p>[評価：C]計画未着手の場合</p>
---------	--